



学校だより 1月号

令和8年1月7日  
かほく市立河北台中学校



# さわやか

学校経営目標 「自ら学び、共に高め合い、発信する学校」



## 気持ちを新たに「有終の美」を目指して

かほく市立河北台中学校長 竹内 幸明



健やかに新しい年を迎えたこととお慶び申し上げます。保護者や地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本年も「生徒一人一人の健やかな成長」と「信頼される学校づくり」に向け、教職員一同、一丸となって邁進してまいります。

新年が明け、卒業式までは約2か月、修了式までは約2か月半となりました。古くから「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、3学期は瞬く間に過ぎ去ってしまいます。学校ではこの時期を「1年間の総まとめ」と位置づけ、一日一日を大切に過ごしていきたいと考えています。

さて、皆さんには「有終の美」という言葉を、どのような意味で捉えているでしょうか。一般的には「最後を立派に締めくくる」という意味で使われますが、その語源を知ると、さらに深い教えが見えてきます。この言葉は、中国最古の詩集にある「はじめ有らざるなし、よく終わり有る鮮（すくな）し」という一節に由来しています。「物事をやり始める人は多いが、最後までやり遂げる人は少ない」という意味です。つまり、「有終の美」とは、単に結果が素晴らしいことを指すのではなく、物事の終盤になっても決して気を抜かず、初心を忘れずに最後まで努力を継続する「態度の尊さ」を称える言葉なのです。年度当初、誰もが目標を掲げてスタートを切りますが、それを最後まで継続することは容易ではありません。生徒の皆さん、自分が立てた目標を振り返ってみてください。たとえ現時点で達成が難しくても、決して諦める必要はありません。大切なのは、この「終わり」の時期にこそ、もう一度自分を奮い立たせ、粘り強く努力を続ける姿勢です。その「やり抜こうとする力」こそが、次の一步を踏み出す原動力になります。

また、物事をやり遂げるためには、心の整え方も重要です。ホンダの創業者・本田宗一郎氏は、「良い製品はきれいな職場から生まれる」という信念から、あえて汚れの目立つ「白い作業着」を採用しました。汚れに気づき、環境を整える意識が、結果として質の高い仕事に繋がったのです。皆さんの身の回りはどうでしょうか。教室や自分の部屋を整えることは、心を整えることに繋がります。

さらに、このまとめの時期に忘れてはならないのが、共に過ごした仲間への感謝です。一人ではくじけそうな目標も、励まし合える友がいたからこそ、ここまで歩んでこれたのではないでしょか。残された日々の中で、一日一度は仲間の良いところを見つけ、言葉にして伝えてみてください。互いを認め合い、高め合う温かな雰囲気こそが、目標達成への一番の近道となります。今のクラスで過ごすかけがえのない時間を慈しみ、最高の思い出という花を添えて、自分なりの「有終の美」を飾ってくれることを願っています。



### 令和7年度卒業式について

今年度は、次の通り、卒業式を挙行いたします。※ 詳細は決まり次第、お知らせします。

日時：令和8年3月13日（金） 9:30～

場所：河北台中学校 講堂



# □ 1月の全体目標 「目標を持って生活しよう」

冬休みが終わり、3学期が始まりました。3学期はわずか3ヶ月。1年の中で最も短い学期となります。

ただ、期間こそ短いものの、3学期はこの1年を締めくくる重要な3ヶ月です。この1年の学びの成果を確かなものとするために、そして、4月から始まる新たなステージでの飛躍を期するためにも、3学期の3ヶ月をどう過ごすかがとても大きな意味を持ちます。

## 《生活》キーワード 規則正しい生活！

新年を迎え、3年生は「志望校に合格」、1・2年生は「部活動で入賞」や「成績アップ」など、それぞれに目標を立てたと思います。3学期は、新年度に向けての準備期間（O学期）と捉えることが多いです。3年生は、次のステージに向かって努力し続けている最中です。2年生は河北台中の新たな【顔】として学習・生活・部活動など様々な面で良き手本となる努力をします。1年生は、後輩を迎える「先輩」として恥ずかしくない行動がとれるようにします。大事なことは、日々の生活の中でコツコツと正しい努力を積み重ね、心構えをすることです。

具体的な心構えとは、

- ①時間を守る
- ②あいさつをする
- ③思いやりの行動をとる等の当たり前のことを当たり前にすることです。



まずは、朝の登校から少し変えてみましょう。自宅を5分早く出るだけで、時間と心にも余裕が生まれます。次に清活委員会は毎朝交代であいさつ運動を続けています。特に、委員長のあいさつは、河北台中学校の名物とも呼べるでしょう。

「当たり前のことを当たり前にする」と言葉にすることは簡単ですが、実践するとなると・・・。

そんな人もいることでしょう。大人になるにしたがって自覚と責任はより大きくなります。周囲の方々から“信頼”されるには、この積み重ねが大切だと思います。少しづつでも構いません。やっていこう！

### 【1月生活実践項目】

- ① 早寝早起き朝ご飯・・・規則正しい生活習慣に戻す・続けること！
- ② 登下校時の防寒対策・・・体調を崩さない工夫をすること！
- ③ 部活動（クラブ活動）を休まない・・・体を鍛えて元気な体と心をすること！



## 《学習》キーワード 「基本にこだわろう」

学習でも3学期を新たな学年・ステージに向けた「新学年のO学期」と位置づけ、毎月テーマをもって過ごしてほしいと思います。1月のテーマは「学習の基本ルールの“徹底”」です。みなさんが当たり前でできるようになってきてることをきちんと徹底し、質を高めることからスタートしましょう！

1. ベル学・・・・・・・ 休み時間の間に、
  - ①次の時間の持ち物を準備する
  - ②トイレをすませ、教室移動は早めに！
  - ③ベル学の時間に取り組む課題は何かを確認し、集中して取り組もう！
2. 正しいあいさつ・・・ 会長の号令にあわせて、
  - ①背筋をのばす
  - ②しっかりと「始めます」「終わります」
  - ③号令があるまでは座らない・移動しない
3. 忘れ物ゼロ・・・・ ①係の生徒は、次の予定と持ち物を忘れずに聞き、予定黒板に記入する  
②予定黒板を見ながら、ライフノートに確実に記入する  
③持ち物の準備は、前日のうちに!!



そして、次のステージへの土台を作るために…

学んだこと、わかったこと、できるようになったことを繰り返し使うことで、自分のものにしていきましょう！